

神戸町 全地域

令和2年度

【地域の概要】

- 本町は東経136°40'、北緯35°20'の濃尾平野の最北端に位置している。南部は大垣市、北部は揖斐郡、西武は奥川を隔てて池田町と大垣市に接し、揖斐川右岸に沿った東西4.1km、南北7.2km、総面積18.78km²の南北に三角形をなした平坦地である。西に伊吹山、北に白山山系の山々を望み、東は清流揖斐川に沿い、南は濃尾平野に連なっている。標高は北西部が高く、南部が低く、南北の高低差は14m程度である。
- 気候は太平洋気候に属し、平均気温は16℃程度、年間降雨量は2,000mm程度であり、概ね温和な気候である。地質は全域が揖斐川の沖積層で、良質で豊富な地下水に恵まれている。本町では肥沃な土壌を活かした施設園芸が東部で行われ、野菜、花き等が生産されている。特に町の花であるバラは県内での有数の生産量を誇っている。また、町全域で水稻、麦、大豆等の土地利用型作物の生産が行われている。

取組開始前の状況や課題

- 人・農地プランは当初作成され、平成27年度に見直しが行われたものの現在の神戸町の農業経営体制に見合ったものではない為、最新の状態に合ったプランを作成すべき。
- 農業委員会の委員間でも以前から農業に携わっている方と新規で農業委員になった方とでは「人・農地プラン」に対する認識にかなりの差がある。
(人・農地プランの言葉すら知らない)

神戸町を5地区（神戸地域・下宮地域・北地域・南平野地域・瀬古前田地域）に分けそれぞれの中心経営体をピックアップして計画を作成した。

人・農地プランがおおよそ実質化していると判断できる地域は（新屋敷・南方・八条・和泉・北一色・田・安次）の7地区

取組内容

- 令和2年3月に「農地に関する意向アンケート」を実施した。
- アンケートを分析してグラフ化し、また、農地集積情報も神戸町全域の地図に落とし込み合同検討会の資料とした。



合同検討会

今後の展開と方向性

- 現在の図式化された集積状況をふまえて農業経営体の意見を取り入れ令和3年度に即した計画にする
- 最新の各地域の農業中心体を把握して、農業の後継者問題もクリアできるような10年先を見越した計画を策定する。

